

INFORMATION



木原記念財団学術賞 推薦等要項

〔推薦の対象〕

1. 推薦の対象は、最近において生命科学の分野で優れた独創的研究を行っている国内の研究者で、50才以下（9月30日締切日現在）の者となります。

ただし、推薦の研究課題で他の著名な賞を受けていないこととします。

〔推薦の依頼先〕

2. 推薦は生命科学に関する学会等に依頼します。推薦依頼学会：別添

〔推薦の方法〕

3. 推薦者は学会の代表者等とし、1推薦者からの推薦は原則として1件とします。

(2) 推薦は所定の推薦書（別添）に必要事項を記入し、当財団あてに1部送付願います。

(3) 推薦の締切日は平成16年9月30日とします。

〔選考方法及び結果〕

4. 受賞者は、当財団の選考委員会で候補者を選考し、理事会にて決定します。

(2) 選考結果は推薦者及び受賞決定者に通知します。

(3) 選考結果は公表します。

〔木原記念財団学術賞の内容〕

5. 本賞は毎年原則として1件に贈呈します。

(2) 本賞は賞状、記念牌及び賞金200万円を贈呈します。

〈参考〉これまでの受賞者は次の方々です。

第1回 野村大成 大阪大学教授
研究課題：発癌および催奇形性変異の後代への伝達

第2回 浅島 誠 東京大学教授
研究課題：両生類の胚誘導と細胞分化に関する

る研究

第3回 五條堀 孝 国立遺伝学研究所教授
研究課題：病原性ウイルスの起源と進化に関する研究

第4回 岡田典弘 東京工業大学教授
研究課題：ゲノムの多様性の獲得機構とその進化的意義に関する研究

第5回 廣近洋彦 農業生物資源研究所分子遺伝部ゲノム動態研究室長
研究課題：植物トランスポゾンの分子遺伝学的研究

第6回 西田育巧 名古屋大学大学院理学研究科教授
研究課題：ショウジョウバエを用いたがん遺伝子の研究

第7回 石浦正寛 名古屋大学大学院理学研究科助教授
近藤孝男 名古屋大学大学院理学研究科教授

研究課題：藍色細菌（藍藻）の生物時計の分子生物学的研究

第8回 島本 功 奈良先端科学技術大学院大学バイオサイエンス研究科教授

研究課題：イネの分子遺伝学的ならびに分子育種学的研究

第9回 松本邦弘 名古屋大学大学院理学研究科教授

研究課題：モデル生物を用いた増殖・分化制御機構の分子遺伝学的研究

第10回 大野茂男 横浜市立大学医学部教授
研究課題：細胞極性の制御に関わる普遍的な分子機構に関する研究

第11回 柿本辰男 大阪大学大学院理学研究
科助教授

研究課題：植物ホルモン，サイトカイニンの
合成と受容機構の研究

第12回 斎藤成也 国立遺伝学研究所集団遺
伝研究部門教授

研究課題：分子系統樹構築法の開発研究と生

物進化の分子系統学的研究

〔推薦書提出先，連絡先〕

財団法人木原記念横浜生命科学振興財団

〒244-0813 横浜市戸塚区舞岡町641-12

TEL. 045-825-3487 FAX. 045-825-3307

http://www.city.yokohama.jp/me/kihara



第36回（2004年度）内藤記念科学振興賞候補者推薦要項

趣 旨：

人類の健康の増進に寄与する自然科学の基礎的
領域において進歩発展に顕著な功績のあった研究
者に対してほう賞を授与するものである。

申請者資格：

1) 人類の健康の増進に寄与する自然科学の基
礎的研究において独創的テーマに取り組み，進歩
発展に顕著な功績を挙げた研究者。

2) 候補者は単独とするが，異なる研究グルー
プによる共同研究の場合には，連名であっても良
い。

3) 候補者の再度の推薦は差支えない。

推薦者：

1) 下記27学会の代表者

高分子学会，日本獣医学会，日本農芸化学会，
日本遺伝学会，日本植物生理学会，日本発生生物
学会，日本ウイルス学会，日本神経科学学会，日
本ビタミン学会，日本栄養・食糧学会，日本神経
化学会，日本病理学会，日本解剖学会，日本生
化学会，日本物理学会，日本化学会，日本生物工
学会，日本分子生物学会，日本癌学会，日本生物
物理学会，日本免疫学会，日本細菌学会，日本生
理学会，日本薬学会，日本細胞生物学会，日本動
物学会，日本薬理学会

2) 当財団の役員および評議員

推薦件数は，1推薦者につき1件

推薦方法：

所定の用紙（候補者推薦書，候補者概要，宛名
シール）に必要事項を記入し，当財団あて送付す
る。

締切日：

2004年10月1日（金）財団必着

選考方法：

選考委員会で審査し，評議員会の同意を得て，
理事会で決定する。

採否の結果は，2005年2月に候補者および推薦
者に通知する。

授賞式・顕彰：

授賞式は受賞者夫妻を招いて2005年3月18日
（金）に行う。

受賞者には内藤記念科学振興賞（正賞：金メダ
ル，副賞：500万円）を贈呈する。

その他：

1) 候補者推薦書は，できるだけワープロでご
記入下さい。（切り貼り可）

2) 推薦書用紙は両面コピーで，宛名シールは
同型のシールで申請可能です。

3) 学会推薦の場合は，学会の公印を捺印くだ
さい。



第36回（2004年度）内藤記念海外学者招へい助成金（前期・後期） 申請要領

趣 旨：

人類の健康の増進に寄与する自然科学の基礎的研究を行う外国の研究者を招へいする際の費用を補助するものである。

申請者資格：

1) 人類の健康の増進に寄与する自然科学の基礎的研究に独創的・意欲的に取り組み、国際的に高い評価を得ている外国の研究者を招へいする際の当該学術集会組織委員長

2) 同一年度の同一学術集会に招へいする場合の申請は1件とする

3) 招へい時期が下記の期間内であること

招へい時期	申請区分
2005年1月1日～2005年6月30日	前期
2005年7月1日～2005年12月31日	後期

2005年1月1日～2005年6月30日 前期

2005年7月1日～2005年12月31日 後期

4) 申請招へい学者が来日中止の場合は対象から除外します

推薦者：

1) 大学関係 総合大学…大学院：研究科長，学部：学部長，研究所：研究所長

ただし、医学研究科・医学部がある場合などは、どちらか一方の推薦者とする。

単科大学…学長

注) センター長，施設長，病院長は推薦者となることができない。

2) 大学以外の研究機関：当財団の理事会が承認した基礎研究機関の代表責任者

3) 当財団の役員及び評議員

4) 当財団の指定した学術集会の代表者

推薦件数：1推薦者につき1件（前期・後期各々1件）

申請方法：

希望者 ⇒ 大学事務 ⇒ 財団

所定の用紙（申請書，申請概要，宛名シール）に必要事項を記入し，当財団あて送付する。

締切日：

前期：2004年6月1日（火）後期：2004年10

月1日（金）

（いずれも財団必着）

選考方法・採択件数：

選考委員会で審査し，評議員会の同意を得て，理事会で決定する。

採択件数：前期・後期各10件未満

採否の結果は，前期：2004年10月，後期：2005年2月に申請者および推薦者に通知する。

助成額・送金時期：

エリア	助成額（万円）
米国・カナダ東海岸，ヨーロッパ	60
米国・カナダ西海岸，オーストラリア，ニュージーランド	50
東南アジア，インド	30
中国，台湾，韓国	20

前期：2004年12月，後期：2005年3月

所定用紙の注意事項：

- ・申請書および申請概要はできるだけワープロでご記入下さい。（切り貼り可）
- ・申請書用紙をコピーして使用する場合は普通紙に両面コピーして下さい。宛名シールをコピーして使用する場合は，シール用紙をご使用下さい。

報告の義務：

1) スポンサーについて：当該学術集会で海外学者による招待講演が行われる場合は，プログラム等に当財団（英文：The Naito Foundation）の助成によるものであることを明記する。なお，プログラム等を一部送付ください。

2) 研究成果報告について：組織委員長は招へい終了1ヶ月以内に所定用紙にて報告する。

◎申請書類は所属大学及び所属研究機関の研究協力課等，助成金担当部署にお問合わせください。

無い場合 ⇒ 大学事務 ⇒ 財 団



平成16年度KAST研究報告会

報告会内容：

財団法人神奈川科学技術アカデミー（KAST）の研究プロジェクトは、科学技術の創造拠点を目指し、先端的かつ高度な科学技術における基礎・応用研究を、卓越した若手リーダーの指揮のもとに行なっております。各プロジェクトで得られた平成15年度の研究成果を総括的に報告致します。

また、本年9月をもって研究期間を満了いたします。山元「電子集積化学デバイス」プロジェクトのこれまでに創出された研究成果を報告する会を開催致します。

つきましては、ご多忙中のところ誠に恐縮ですが、ご来場くださいますようお願い申し上げます。

日 時：平成16年9月7日（火）、8日（水）

会 場：KSPホール（川崎市高津区坂戸3-2-1
かながわサイエンスパーク西棟3F）

定 員：250名

参加費：無料

問い合わせ先：

財団法人神奈川科学技術アカデミー（略称
KAST）

研究調整課 林

TEL 044-819-2034

FAX 044-819-2026

E-mail hayashi@kast.or.jp

URL <http://www.kast.or.jp/>

締 切：前日まで

プログラム：

第1日目 研究報告

開会挨拶 理事長 藤嶋 昭

研究事業概要説明 専務理事 石谷 炯

研究成果報告

藤岡「フレキシブルデバイス」プロジェクト

リーダー 藤岡 洋

長谷川「ナノ光磁気デバイス」プロジェクト

リーダー 長谷川哲也

光科学重点研究室 大津・斎木グループ

リーダー 大津元一

リーダー 斎木敏治

昼食

光科学重点研究室 北森・渡慶次グループ

リーダー 北森武彦

リーダー 渡慶次学

伊藤「再生医療バイオリクター」プロジェクト

リーダー 伊藤喜浩

益田「ナノホールアレー」プロジェクト

リーダー 益田秀樹

休憩

光科学重点研究室 佐藤グループ

リーダー 佐藤 治

新規プロジェクト紹介

中島「ナノウェットティング」プロジェクト

リーダー 中島 章

横山「高分子ナノメディカル」プロジェクト

リーダー 横山昌幸

ポスターセッション

ポスター展示は12：10より開催

第2日目 終了プロジェクトの研究報告

開会挨拶 理事長 藤嶋 昭

<精密金属集積ナノ材料の創製と応用—山元プロジェクト終了報告会>

研究の総括

プロジェクトリーダー 山元公寿

樹状球状高分子の新合成と精密金属集積の確定 樋口昌芳

精密金属集積の自在制御 山元公寿

樹状球状高分子の電子集積機能 今岡享稔

金属集積置換基を有する金属クラスターの創製 門 毅

精密金属集積高分子のエレクトロニクス材料への応用 趙 俊相

ポスターセッション



千里ライフサイエンスセミナー

「タンパク質のクオリティコントロールとその破綻」

日 時：平成16年9月7日(火)10:00～17:00

場 所：千里ライフサイエンスセンタービル

5階ライフホール

主 催：財団法人千里ライフサイエンス振興財団

着眼点：

種々のストレスや遺伝的変異によって、細胞内にミスフォールドしたタンパク質が蓄積し、凝集するといった事態に対応するため、細胞は何段階もの巧妙なタンパク質品質管理機構を備えている。本セミナーではこのような細胞内におけるタンパク質の品質管理機構の分子基盤と、その破綻としての神経変性疾患をはじめとする、いわゆるフォールディング病についての最新の知見を紹介する。

コーディネーター：

京都大学 再生医科学研究所 教授 永田和宏

奈良先端科学技術大学院大学 教授 河野憲二

プログラム：

1. はじめに

2. 分子シャペロンによる蛋白質の変性・凝集の
阻止と回復

東京工業大学 資源化学研究所

教授 吉田賢右

3. 小胞体ストレス感知システムとその可視化

奈良先端科学技術大学院大学

遺伝子教育研究センター 教授 河野憲二

4. 小胞体の品質管理機構—細胞内メカニズム—

京都大学 再生医科学研究所

細胞機能調節学分野 助教授 細川暢子

5. 異常タンパク質を処理する細胞内装置

東京都臨床医学総合研究所 副所長 田中啓二

6. 樹状細胞による抗原クロスプレゼンテーションの機構

(株) 医学生物学研究所 伊那研究所

所長 矢原一郎

7. 運動ニューロン疾患の病態と治療

名古屋大学大学院 医学系研究科

神経内科

教授 祖父江元

8. ミスフォールド蛋白質とパーキンソン病

理化学研究所 脳科学総合研究センター

運動系神経変性研究チーム

チームリーダー 高橋良輔

9. おわりに

参加費：会員（大学・官公庁職員，当財団の賛助
会員）3,000円，

非会員5,000円，学生1,000円

定 員：300名

申込方法：

氏名，〒所在地，勤務先，所属，電話および
FAX番号を明記の上，郵便，FAXまたはE-mail
で下記宛にお申込み下さい。事務局より受付の通
知を返送いたしますので，そこに記載した振込先
口座に参加費をお振込み下さい。入金を確認後，
通常2週間以内に領収書兼参加証をお届けいたし
ます。

申込先：

(財)千里ライフサイエンス振興財団 セミナ
ーU1係

〒560-0082 大阪府豊中市新千里東町1-4-2

千里ライフサイエンスセンタービル8階

TEL：06-6873-2001 FAX：06-6873-2002

E-mail：tnb-lsf@senri-lc.co.jp

URL：http://www.senri-lc.co.jp

申込締切：定員になり次第締め切ります。



千里ライフサイエンスセミナー

「ヒト安全性予測システムの現状と今後の展開：ヒト SNP・ 蛋白質解析，動物モデル，in silico 解析」

日 時：平成 16 年 9 月 28 日（火）10：00～
17：15

場 所：千里ライフサイエンスセンタービル 5 階
ライフホール

着眼点：

薬物療法は現代医療の中心的な治療法である。安全・安心で有効な薬物療法の確立のためには、重篤な副作用をさけることが必須である。また、薬物開発においても心臓不整脈や肝障害などの副作用の出現がその薬物にとって致命的となることが知られている。本セミナーにおいては、ゲノム・蛋白質の網羅的解析，動物モデル，in silico 解析など，様々の方法によるヒトにおける薬物の安全性がどこまで予測できるか，また，今後どのように研究を進展させるべきかを考える。

コーディネーター：

大阪大学大学院医学系研究科 教授 倉智嘉久
東京大学医学部附属病院薬剤部

助教授 鈴木洋史

プログラム：

1. 新医薬品の安全性予測と臨床試験のあり方
東京都多摩老人医療センター 名誉病院長，
医薬品医療機器総合機構 顧問 上田慶二
2. トキシコゲノミクスプロジェクトの特徴と進捗
国立医薬品食品衛生研究所 所長 長尾 拓
3. 新しいたんぱく質科学の構築を目指して
創薬プロテオームファクトリー
プロジェクトリーダー 松尾壽之
4. トランスポーターを利用した医薬品誘発副作用の回避：in vitro 実験，遺伝子改変動物を用いた in vivo 実験に基づく予測
東京大学大学院薬学系研究科 教授 杉山雄一
5. PET による薬物動態解析—11C-phosgene による標識薬剤合成装置

大阪大学大学院医学系研究科 教授 畑澤 順
6. 薬物動態・安全性試験におけるヒト肝細胞キメラマウスの有用性

金沢大学大学院医学系研究科 教授 横井 毅
7. 特異体質性の薬物毒性発現機構に関する考察
三共株式会社薬剂動態研究所 所長 池田敏彦
8. ヒト臓器・組織を用いた安全性評価システムの開発

大阪大学大学院医学系研究科 教授 野村大成
9. タンパク質の表面物性の類似性にもとづく機能予測

大阪大学蛋白質研究所 客員助教授 木下賢吾
10. 薬物による心臓副作用 in silico 予測

大阪大学大学院医学系研究科 教授 倉智嘉久
定 員：300 名

参加費：会員（大学・官公庁職員，当財団の賛助
会員）3,000 円，非会員 5,000 円，学生 1,000 円
申し込み要領：

①氏名，〒，所在地，勤務先，所属，電話および FAX 番号を明記の上，郵便，FAX 又は E-mail で下記宛お申込み下さい。

②事務局より受付の通知を返送いたしますので，通知書に記載した振込先口座に参加費をお振込み下さい。

③入金を確認後，通常 2 週間以内に領収書兼参加証をお届けいたします。

申込先：

（財）千里ライフサイエンス振興財団セミナー
（U2）事務局

〒560-0082

大阪府豊中市新千里東町 1-4-2

千里ライフサイエンスセンタービル 8F

TEL：06-6873-2001 FAX：06-6873-2002

E-mail：fujisawa-lsf@senri-lc.co.jp



動脈系化学受容器国際学会 ISAC 第 16 回 Conference

動脈系化学受容器国際学会 ISAC (International Society of Arterial Chemoreceptors) の第 16 回 Conference が日本で初めて下記の要綱で開催されます。奮ってご参加ください。

会 期：2005 年 5 月 9 日 (月)～12 日 (木)

会 場：東北大学医学部 良陵(ごんりょう)会館
〒980-8575 仙台市青葉区星陵町 2-1

TEL：022-227-2721

FAX：022-227-2725

会議 president：

近藤尚武 (東北大学大学院医学系研究科教授
細胞生物学)

Mail address：hkondo@mail.tains.tohoku.ac.jp
同 secretary general：

林田嘉朗 (四天王寺大学教授 保健学科)

Mail address：hayasida@mail.shitennoji.ac.jp

同事務局：

東北大学大学院医学系研究科 細胞生物学

〒980-8575 仙台市青葉区星陵町 2-1

TEL：022-717-8033

FAX：022-717-8035

事前登録締め切り：2005 年 1 月 31 日

演題応募締め切り：2005 年 1 月 31 日



第 20 回 ¹³C 医学応用研究会，第 7 回日本呼気病態生化学研究会 合同発表会 演題募集

日 時：平成 16 年 11 月 5 日 (金)，6 日 (土)

場 所：ウイシュトンホテル・ユーカリ

285-0858 千葉県佐倉市ユーカリが丘 4-8-1

TEL：043-489-6111

(京成ユーカリが丘駅 0 分)

演題締切：平成 16 年 9 月 3 日 (金) 必着

今回の ¹³C 医学応用研究会発表会は，第 7 回日本呼気病態生化学研究会との合同発表会となります。特別講演，市民講座および懇親会を 5 日 (金) に行い，一般講演，ランチョンセミナーおよびシンポジウムを 6 日 (土) に行う予定です。¹³C 医学応用研究会へ演題応募をされる方は，下記の演題募集要項に従い，発表会幹事まで，期日内に応募用紙をお送り下さい。応募用紙は，当研究会会員の方には 7 月末に郵送されますが，非会員の方は下記発表会幹事までご連絡の上ご入手下さい。

<応募要領>

1. 応募者は，抄録用原稿用紙に演題名，演者名，共同演者名，所属及び発表内容の要約を記載

方法に従ってタイプしてください。

2. 抄録原稿及びそのコピー 1 部に，演題申込票を添えて下記の演題送付先へお送り下さい。
3. 発表は会員に限ります。未入会の方は入会手続きを日本学会事務センター (〒113-0021 東京都文京区本駒込 5-6-9，TEL 03-5814-5810) でおとりになるか，発表会臨時会員におなり下さい。発表会臨時会員の場合は，事務局 (〒192-8577 東京都八王子市丹木町 1-236 創価大学生命科学研究室内，TEL 0426-91-9382) へ連絡をお取り下さい。
4. 発表内容は ¹³C 医学応用研究会会誌に掲載いたしますので，研究会当日に原稿 (所定の原稿用紙) を提出して頂きます。詳しい記載方法については，演者に直接御連絡いたします。
5. 研究発表の 1 題の講演時間は 10 分，討論時間は 5 分の予定です。
6. 研究会参加費は，3,000 円 (非会員 4,000 円) です。

研究会初日（5日）市民公開講座終了後に、懇親会（於発表会会場）を予定しておりますので、皆様の御参加をお待ちしております（懇親会費4,000円）。

発表会に関する問い合わせ：

発表会幹事

〒272-0827 市川市国府台1-7-1

国立精神・神経センター神経内科
湯浅龍彦

電話：0473-75-6310（FAX/TEL）

E-mail：yuasaryu@bekkoame.ne.jp



生理研カンファレンス・未来開拓国際シンポジウム

International Symposium on “Adult neurogenesis in normal and pathological conditions”

日時 平成16年11月11日（木）13：00

13日（土）15：00

場所 自然科学研究機構 山手3号館 2F（愛知県岡崎市明大寺町）
名鉄東岡崎駅よりタクシー利用にて約7分
バス利用にて約10分

Oversea Symposists（敬称略）

Steve A Goldman（Univ. Rochester/U.S.A.）

Magdalena Gotz（Max-Planck Inst. Neurobiol./Germany）

Rune Hen（Columbia Univ./U.S.A.）

John A. Kessler（Northwestern Univ./U.S.A.）

Derek van der Kooy（Univ. Toronto/Canada）

Jeff Macklis（Harvard Univ./U.S.A.）

Cindi Morshead（Univ. Toronto/Canada）

Stephen C Noctor（Columbia Univ./U.S.A.）

※シンポジウムは全て英語にて行われます。

参加費 4,000円（ポスターパーティー，昼食代2回含む）

申し込み方法 住所・氏名・所属・Tel番号・メ

ールアドレスを明記し，下記連絡先宛にE-mailまたはFaxにてお申し込み下さい。

ポスター演題募集 広くポスター演題を募集します。演題を応募される方は，下記連絡先宛E-Mailにて受付いたしますので，奮ってご応募ください。

申込締切 9月末日

組織委員 Derek van der Kooy University of Toronto

等 誠司 自然科学研究機構・生理学研究所

池中 一裕 自然科学研究機構・生理学研究所

連絡先 自然科学研究機構・生理学研究所 窓口：北山 理英（秘書）

Tel：0564-59-5249 Fax：0564-59-5247

Email：trie@nips.ac.jp

<http://www.nips.ac.jp/ninfo/sympo.html>



第9回グリア研究会

日時：平成16年11月20日（土）
9：30～17：30（予定）
会場：アクロス福岡 イベントホール（福岡市
中央区天神1丁目1番1号）
会長：吉良潤一（九州大学大学院医学研究院
神経内科学 教授）

プログラム：

◆一般演題（口演）（募集中 締め切り：平成16
年9月3日）

◆シンポジウム

テーマ1：「封入体形成からみたグリアの変性」
演者：岩城 徹（九州大学大学院医学研究院神
経病理学 教授）

テーマ2：「神経変性再生におけるミクログリア
の役割」

演者：錫村明生（名古屋大学環境医学研究所高

次神経統御部門 教授）

◆特別講演

テーマ：「アストログリアと神経細胞のシナプス
形成」

演者：宮脇敦史（理化学研究所脳科学総合研究
センター先端技術開発グループ）

会費：1,000円

第9回グリア研究会事務局：

九州大学大学院医学研究院神経内科学内

TEL：092-642-5340 FAX：092-642-5352

E-mail：glia9@med.kyushu-u.ac.jp

共催：グリア研究会、田辺製薬株式会社

演題の応募等お問い合わせは研究会事務局までお
願い致します。なお、今回はポスターによる発表
は行わない予定です。予めご了承下さい。



第55回西日本生理学会

第55回西日本生理学会を下記の要領で開催い
たします。

今回は、日本生理学会評議員による推薦書の提
出により、非会員の方でも発表が出来ます。多数
ご参加くださいますようお願い申し上げます。

会期：平成16年10月15日（金）～16日（土）

会場：福岡大学キャンパス内
〒814-0180 福岡市城南区七隈8-19
-1

参加申し込み：

学会および懇親会に参加ご希望の方は、

- ・先日、会員宛（所属機関ごと）に郵送し
ました書類を作成の上、本学会事務局あ
てにご郵送ください。
- ・申し込みと同時に、会費を下記口座へご

送金願います（送金には、払込取扱票を
ご利用ください）。学会参加費（4,000円）、
懇親会費（6,000円）

- ・一旦、入金された会費は返却いたしかね
ますので、予めご了承くださいませよう
お願い申し上げます。
- ・参加申し込みをされた方には、後日、予
稿集・会員名簿などをお送りいたします。
- ・申込書類をお持ちでない方は、当事務局
までお問い合わせください。

学会参加費 および 懇親会費振込先：

郵便振替口座名：第55回西日本生理学会
郵便振替口座番号：01740-4-75063

	書類名	提出期限	提出方法
学会参加申し込み	A. 学会参加・懇親会費 払込取扱票 B. 参加申込書 C. 会員名簿原稿用紙	平成16年8月16日(月) 必着	A. 郵便振込 (払込取扱票) B. 郵送 C. 郵送および e-mail
発表申し込み	D. 予稿集用原稿 E. 予稿集用原稿のコピー(3部) F. 推薦書(非会員が発表者の場合のみ)	平成16年8月16日(月) 必着	郵送および e-mail
日誌掲載用 抄録原稿	G. 「日本生理学雑誌」掲載用 抄録原稿と原稿の入った フロッピーディスク	発表当日, 受付へ	

B～Fは一括してお送り下さい。

また、C、Dについては郵送と同時にe-mailの添付書類でもお送り下さい。

送付先：〒814-0180

福岡市城南区七隈7-45-1
福岡大学 医学部 生理学教室内
第55回西日本生理学会 事務局
e-mail : physiol@fukuoka-u.ac.jp

発表形式：

- ①発表は、パソコンによる液晶プロジェクターを使用した口頭発表とさせていただきます。
 - ・ノートパソコン(PC)は発表者ご自身でお持込みください。
 - ・PCの操作は共同演者もしくは事務局で行います。
- ②PCを持ち込めない方は、PowerPointで作ったファイルをCD-Rに入れ、学会の一週間前までに当事務局までお送りください。但し、動画は使えません。
 - ・発表およびPC映写に関する詳細につきましては予稿集およびホームページでお知らせいたします。
 - ・発表者は参加申込書にPC発表およびPC持参の有無についてご記入ください。
 - ・コンピュータのトラブルに備え、OHP用の原稿(透過型)も必ずご用意ください。
- ③パソコン使用や持込みが出来ない方には、

透過型OHPプロジェクターを準備いたしますので、参加申込書のPC使用希望欄にOHPと明記してください。

発表申込：

- ①研究室あたりの演題数には制限はありませんが、演者になれるのは1人1題に限ります。
- ②演者(筆頭著者)について

演者は従来、日本生理学会会員に限られていましたが、今回は、日本生理学会評議員による推薦書を提出していただくことにより、非会員の方が筆頭著者として発表することが出来ます。推薦書を提出される方は、参加申し込み書類などと一緒に郵送してください。

懇親会：

10月15日(金)総会終了後、懇親会を18時30分(予定)より、福岡大学文系センター棟16F(スカイラウンジ)で開催いたします。多数のご参加をお待ち申し上げます。(会費6,000円)

お問い合わせ：

学会についてのお問い合わせは、メールでお尋ね下さい。

第55回西日本生理学会事務局

e-mail : physiol@fukuoka-u.ac.jp

〒814-0180 福岡市城南区七隈7-45-1

福岡大学医学部生理学教室

第55回西日本生理学会事務局 大場・赤星
TEL 092-801-1011 (内線3231, 3225)
FAX 092-865-6032 (代表)

第55回西日本生理学会当番幹事
福岡大学医学部生理学
代表：今永一成



第20回疲労研究会

日 時：平成16年9月13日(月) 10:00-17:00

場 所：大宮ソニックシティ 国際会議室(埼玉県さいたま市)
(〒330-8669 さいたま市大宮区桜木町1-7-5 TEL: 048-647-4111 (代) Fax: 048-647-4159)

会 長：下光輝一(東京医科大学衛生学公衆衛生学主任教授)

I. 特別講演

『心拍のゆらぎによるやすらぎ度の評価』

早野順一郎(名古屋市立大学大学院医学研究科共同研究教育センター特任教授)

II. シンポジウム

『疲労マネジメントのための休養のあり方』

司会：下光輝一(東京医科大学衛生学公衆衛生学主任教授)

1. 「疲労の疫学」

蓑輪眞澄(国立保健医療科学院疫学部部長)

2. 「労働衛生の立場からの疲労の総括と休養の提言」

酒井一博(労働科学研究所常任理事・研究主幹)

3. 「体力科学の立場からの疲労の総括と休養の提言」

矢部京之助(大阪大学大学院スポーツ科学研究科教授)

4. 「睡眠からみた休養のとり方に関する提言」
佐々木三男(太田総合病院太田睡眠科学センター所長)

5. 「臨床医からみた疲労の考え方と休養のとり方に関する提言」
橋本信也(日本医師会常任理事)

III. 一般口演

一般口演の演題募集について

疲労ならびに休養等に関する研究演題を広く募集いたします。平成16年8月13日(金)までに、演題名、氏名(演者に○)、所属を記載した口演要旨(400字程度)を下記事務局までe-mailにてお送りください。口演時間は、1演題につき質疑応答を含めて約15分の予定です。

◎一般参加について

一般参加に関する手続きはありません。参加費は、年会費として会誌代(「疲労と休養の科学」第20巻：平成17年発行)を含めて5,000円です。研究会の当日、受付にて申し受けます。

●問い合わせ先●

〒160-8402 東京都新宿区新宿6-1-1

東京医科大学衛生学公衆衛生学教室 疲労研究会事務局

電話 03-3351-6141 (内線238) FAX 03-3353-0162

e-mail: hirou@tokyo-med.ac.jp